



# 明星大学

校訓をモチーフに頭文字をデザインしたコミュニケーションマーク



明星大学の母体となる明星学苑は、1923（大正12）年に明星学苑創設者・児玉九十により、明星実務学校（現・明星中学校・高等学校）が多摩の地に開校されたことから始まります。その後、1949（昭和24）年に明星幼稚園、1950（昭和25）年には明星小学校が開校され、明星大学は1964（昭和39）年、学苑の「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」という建学の精神を受けて開学されました。最初に理工学部がつくられ、その後、通信教育課程や大学院などを設置しながら、発展してきました。

今日では、9学部12学科、データサイエンス学環、大学院、通信教育課程を有し、学生数約8,500名の総合大学として、多摩地域

に根差して教育研究活動を行っています。

明星大学の校章は、旧制の明星中学校の校章にゆかりがあり、誕生にまつわる経緯が明星学苑の校報誌『体験教育』（当時）に掲載されています。記事によると、創立当時の明星中学校校章は、「理想は高く、行いは一歩より」の願いのもとつぎ、各学年が一致団結して校風を発揮するという意味を込め、第1学年～第5学年を示す大小5個の星がデザインされていました。この星の数は、学苑の発展と共に数を増やし、現在は16個の星が配されています。また、その色は、「偽りなく、ひたすら真心をもって接する心」を表す「赤誠」という語が由来であると考えられています。



▲明星学苑の創設者である児玉九十。1888（明治21）年、静岡県三島に生まれ、東京帝国大学文科大学（現、東京大学文学部）史学科を卒業した。



▲明星学苑の始まりとなった明星実務学校。初代校長は宮本覚純で生徒数は30名だった。

## 明星学苑・明星大学ロゴコレクション



▲明星大学の校章。明星学苑創設以来の校章の「理想は高く、行いは一歩より」の願いを込めた輪形の連星をもとにデザインされ、輪の中に「大学」の文字を図案化して書き入れたもの。



▲コミュニケーションマーク。シンプルなデザインに様々な思いが込められており、三本柱は頭文字のMと、校訓である「健康」「真面目」「努力」を表している。2018年に誕生した。



▲明星学苑創立100周年記念ロゴ。学苑内公募の中から、明星中学校1年生（2021年度当時）森雄之介さんの作品が選ばれた。森さんの承のもと、原案にデザイン調整を行い、完成した。

2018年には、より多くの人に明星大学を知ってもらうツールとして、コミュニケーションマークが誕生しました。

校訓である「健康」「真面目」「努力」の三本柱をモチーフに、明星学苑の頭文字のMが表現されています。Mの書体は伝統的なブラックレターという書体を彷彿させるもので、1923（大正12）年から100年続く明星学苑の伝統をあらわしています。「安定」や「信頼」につながるための縦線は少し右肩上がりになっていて、学生の成長と大学の発展への願いが込められています。また、さまざまな場面で総合学苑である明星学苑のことを知ってほしい、そして明星学苑にかかわるす

べての人々の思いをつなぎたいという思いから、2021年4月より幼稚園、小学校、中学校・高等学校、大学の全ての学校・園でコミュニケーションマークを使用しています。

生徒数30人から始まった明星学苑の歴史は、今年で100年を迎えました。創立100周年を記念して、特設サイトを公開し、明星学苑を卒業し各界で活躍する卒業生、明星とともに進化を続ける在校生、学生達を温かく見守る保護者・教職員の計100人へのインタビュー記事を、定期的に更新しています。その他、明星小学校に通う児童達が描いた「100」のイラストや、創立100周年記念のビジュアル・ロゴなども公開しています。

明星学苑は「自ら変革し続け、新たな時代、新たな世界を謳歌する人間性あふれる卒業生を輩出する学苑」という次の100年に向かうためのビジョンを掲げています。また、明星大学では「新たな時代を世界の人々と共創する大学」「多摩に根差し、地域に貢献する大学」というビジョンを掲げ、生涯にわたり自律的に学び続け、みなと協働して幸福を生み出していく人の育成への歩みをはじめています。

明星学苑創立100周年記念特設サイトへはコチラから！

お問い合わせ先  
学校法人明星学苑（明星大学）広報チーム  
URL:<https://www.meisei-u.ac.jp/>  
TEL:042-591-5670

